

主な出来事

1. 内政・外政

- 12日、ビルタ外務・国際協力大臣が、記者会見で近隣諸国（ウガンダ、ブルンジ）との関係について言及
- 20日、カガメ大統領がAUに対し、アフリカ向けワクチンを確保するための担当の任命を要請
- 26日、ルワンダ・ブルンジの軍事情報機関ハイレベル会合開催
- 28日、マハマ難民キャンプから、ブルンジ難民500名が自主帰還。
- 31日、ルワンダ捜査局がテロ組織の創設・指導等の容疑で、映画「ホテル・ルワンダ」の中で英雄として描かれているルセサバギナ氏を逮捕

2. 開発協力

- 12日、米国がコロナ対策支援として各種医療用品を供与
- 24日、KOICAとルワンダ財務・経済計画省がT V E Tに係る無償資金協力を署名
- 27日、中国大使館が約2万米ドル相当の食料支援等を実施

3. 経済

- 15日、ルワンダ国内における業務提携に関する法案が閣議承認
- 15日、金融情報センターの設立が閣議承認

4. その他

- 30日、コロナウイルス感染者数が4,000人越え

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダの英字日刊紙 The New Times の記事のとりまとめ。

1. 内政・外政

（1）ビルタ外務・国際協力大臣が記者会見で近隣諸国（ウガンダ、ブルンジ）との関係について言及（12日）

ビルタ外相が近隣諸国との関係について言及。ウガンダについては、不法に逮捕されたルワンダ人の解放といった進展の一方、反ルワンダ政府勢力分子による活動や領土侵犯などで「一歩進んで二歩後退」と発言。ブルンジについては、ブルンジ難民の帰還を妨げないと述べた。

（2）カガメ大統領がAUに対し、アフリカ向けワクチンを確保するための担当の任命を要請（20日）

カガメ大統領は、AU事務局と各地域経済共同体議長が参加した新型コロナウイルス感染症対策を検討するオンライン会議において、世界市場でアフリカ

向けのワクチンを確保するための担当1名(元首級)を加盟国から任命することをAUに要請した。

(3) ルワンダ・ブルンジの軍事情報機関ハイレベル会合開催(26日)

ルワンダとブルンジの軍事情報機関のハイレベル会合が開催され、両国関係に緊張をもたらしている国境付近の治安情勢について協議した。

(4) ルワンダ捜査局(RIB)がテロ組織創設・指導等の容疑者逮捕(31日)

RIBは、テロ組織の創設・指導・スポンサー・メンバーの容疑で、ルセサバギナ(Paul RUSESAGAGINA)氏を逮捕した。同氏は、映画「ホテル・ルワンダ」(2004)で英雄として描かれている人物。

2. 開発協力

(1) 米国がコロナ対策支援として各種医療用品を供与(12日)

米国がルワンダのコロナ対策支援として、各種医療用品(13万米ドル相当)を引き渡した。医療用品の内訳は、手術用マスク、無菌使い捨て手袋、N95マスク等で、国内の医療従事者に配布される予定。

(2) 韓国国際協力団(KOICA)とルワンダ財務・経済計画省が無償資金協力を署名(24日)

KOICAとルワンダ財務・経済計画省の間で、技術教育・職業訓練(TVET)にかかる890万米ドル相当の無償資金協力を署名。

(3) 中国大使館が約2万米ドル相当の食料支援等を実施(27日)

中国大使館が中国留学生同窓会(RCAO)と協力して、新型コロナウイルス感染症により影響を受けたガサボ郡の教員300名に対して約2万米ドル相当の食糧支援等を実施。支援内容は、米、トウモロコシの粉、油、塩、石けん、洗剤等。

3. 経済

(1) ルワンダ国内における業務提携に関する法案が閣議承認(15日)

臨時閣議が、ルワンダ国内における業務提携に関する法案(draft law relating to investment promotion and facilitation)を承認。同法案にはキガリ国際金融センター(Kigali International Financial Center: KIFC)の設立が含まれている。

(2) 金融情報センターの設立が閣議承認(15日)

臨時閣議が金融情報センターの設立を承認。銀行をはじめとする各種機関により報告された不審な取引の監視や、資金洗浄やテロ資金調達の防止・対抗策の強化が目的。

(了)